

令和元年度 自律改革の取組状況（令和元年9月30日時点）

No.	事項名	自律改革取組前の状況 (現状・課題)	検討・分析の進め方	取組の内容及び成果(令和元年9月末時点) と今後の方向性	部課 (取組部署)
1	ペーパーレス化の推進	<p>○会議資料の多くを紙媒体で配付しており、会議資料の印刷・セッティングのための時間や紙の使用等に伴うコストが発生</p> <p>○環境負荷軽減の観点からも、ペーパーレス化が必要</p>	○各部・所の状況に応じ、取組を推進	<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○局内会議のペーパーレス会議トライアル ○印刷方法の見直し ○資料の電子配布 ○会議へのタブレット端末等の導入 ○資料の共有、保存におけるデータ化の推進 ○部内打合せにおける新端末の活用 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き上記の取組を進めるとともに、状況に応じた更なるペーパーレス化の推進を図る。 	総務部
				<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○局内会議のペーパーレス会議トライアル ○部内研修の資料配付見直し <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き上記の取組を進めるとともに、状況に応じた更なるペーパーレス化の推進を図る。 	港湾経営部
				<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○局内会議のペーパーレス会議トライアル ○印刷方法の見直し ○資料の電子配布 ○会議へのタブレット端末活用 ○会議へのプロジェクター活用 ○部内研修の資料配付見直し <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き上記の取組を進めるとともに、状況に応じた更なるペーパーレス化の推進を図る。 	臨海開発部
				<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○部内会議のペーパーレス会議拡大 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き上記の取組を進めるとともに、状況に応じた更なるペーパーレス化の推進を図る。 	港湾整備部
				<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○局内会議のペーパーレス会議トライアル ○印刷方法の見直し ○会議におけるプロジェクター等の活用 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き上記の取組を進めるとともに、状況に応じた更なるペーパーレス化の推進を図る。 	離島港湾部
				<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○印刷方法の見直し ○裏面の活用 ○資料の電子配布 ○会議へのタブレット端末等の導入 <p>成果</p> <p>前面コピー、資料の電子配布等によりペーパーレスの拡大を図った。</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き上記の取組を進めるとともに、状況に応じた更なるペーパーレス化の推進を図る。 	東京港湾管理事務所
<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○裏面の活用 ○会議資料の印刷部数の精査 ○会議におけるプロジェクターの活用 ○サーバーを活用した資料の共有・保存 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末等の導入の検討 	東京港建設事務所				
2	将来の東京港及び島しょ港湾・漁港を支える技術のあり方の検討	<p>○2040～2050年代を見据えた東京港の機能強化や島しょの港湾・漁港等の整備を着実に推進していく必要がある。</p> <p>○一方で、人口減少社会、生産年齢人口の減少などによる、将来の担い手不足や財源不足などが懸念される。</p>	<p>○担い手不足、財源不足等の将来発生が想定される課題等を見据えるとともに、AIやICT技術の進展を踏まえ、港湾の整備や維持管理を支える無人化施工や点検技術、環境配慮に資する新たな技術等に関する情報収集を行うとともに、必要に応じて実証試験等を行い、当該技術の実用化に資する取組を行う。</p> <p>○検討する技術の導入効果については、省エネ、コスト削減など、都民にわかりやすい指標として設定する。</p>	<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT工等を導入、実施した。 ○新たな技術等に関する情報収集を行うなど、当該技術の実用化に資する取組を行った。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、新技術の導入を積極的に取り組む必要があるため、導入推進に向けた調査・検討を行うとともに、必要に応じて現場実証を行う。上記について、技術のあり方の最終報告をとりまとめる。 	港湾整備部
3	港湾工事の公開	<p>(港湾工事の状況のより一層の公開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工事現場周辺に住民が少ない場合が多く、工事説明の機会が僅か ○港湾工事による社会資本整備の重要性を積極的に周知することが必要 	○港湾局工事の公開に向けてPTを立上げ、具体的な取組について検討	<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○局HPでの情報公開 ○工事インフォメーションセンターの運営 ○工事現場見学会の実施 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、必要を見直しを行い、上記の取組を実施していく。 ○東京ミナト「エ」やみなと祭などでの特別展の開催に向けて準備を進めていく。 	港湾整備部
		<p>(工事情報の公開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係団体・近隣住民等以外の都民が、港湾工事の情報を得る機会が僅か ○港湾工事の重要性を積極的に情報提供することが必要 	○港湾局工事の公開に向けてPTを立上げ、具体的な取組について検討	<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○局HPでの情報公開、工事インフォメーションセンターの運営、工事現場見学会の実施 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き上記の取組を実施 	東京港建設事務所
4	施設サービス魅力向上に向けた取組	○総務部入口に、来庁者向けのパンフレットを置く棚を設置しているが、スペースが狭いため、パンフレット同士が重なっており分かりづらい状況である。	○都民サービスの向上の視点に立ち、来庁者にとってわかりやすく、パンフレット類を掲示する。	<p>【取組の内容及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パンフレット類を置いているラックを年内に増設する予定。さらに掲示物を種類別に整理し、来庁者から見て、何を掲示しているのかわかりやすくする。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設サービス魅力向上に向けた自律的な点検を日常管理の中でを行い、課題の発見及び改善に努める。 	各部・所